

蔵増まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和4年8月29日開催

- No. 1 **排水ポンプの設置について**
建設課
- No. 2 **倉津川堤防内の支障木について**
建設課
- No. 3 **サイレンの鳴り方について**
消防本部
- No. 4 **今年8月の大雨による水害について**
危機管理室、建設課
- No. 5 **除雪機の貸し出しについて**
市長公室
- No. 6 **除雪について**
建設課
- No. 7 **通学路の速度規制について**
生活環境課、建設課、教育総務課
- No. 8 **小中学校のスクールバスの導入について**
生活環境課、教育総務課、学校教育課

蔵増まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和4年8月29日開催

No.	1	標 題	排水ポンプの設置について
所管課等		建設課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>豪雨時の水門の排水を市の排水ポンプ車で対応していますが、常設の排水ポンプを設置していただくことを要望します。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>近年、異常気象による局地的な集中豪雨が頻発しており、市西部地域の皆様が御心配や御苦勞をされていることは承知しているところです。</p> <p>市としては適正な避難情報等の発信に努めるとともに、住民の皆様においては洪水ハザードマップ等を御確認いただき、日頃より災害への備えをお願いします。</p> <p>なお、高野辺水門に常設の排水ポンプを設置することについては、河川管理者である県から、設置することは困難であるとの回答をいただいています。しかしながら本市では、河川の流下断面の確保を図れるよう、堆積土の撤去や支障木の伐採など、適切な対策を県へ要望しています。</p> <p>また、本市では、豪雨時の内水被害に備え、平成26年度に排水ポンプ車、令和3年度に可搬式排水ポンプを4台配備し、引き続き、内水被害の軽減を図っていきます。</p>			

No.	2	標 題	倉津川堤防内の支障木について
所管課等		建設課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>倉津川堤防の強化工事により、以前に比べて土砂崩れによる越水の可能性がかなり軽減されたと判断します。しかし、堤防の外側はきれいに整備されましたが、実際に水が流れる内側に多くの支障木があり、豪雨の際は水の流れに悪影響を与えると推測されますので、早々に撤去をお願いします。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>この度の御提言について倉津川の河川管理者である県に伝えたところ、「御要望にあります倉津川の状況は、定期点検により把握していますが、村山総合支庁本庁舎管内で管理する河川が60河川、総延長約300キロメートルあり、その中で緊急性が高い箇所から優先順位を決めて、堆積土の撤去や支障木の伐採を順次進めているところですので御理解いただきますようお願いいたします。なお、倉津川の状況につきましても、今後とも注視していきます。」との回答をいただきました。</p>			

No.	3	標 題	サイレンの鳴り方について
所管課等		消防本部	

蔵増まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和4年8月29日開催

《市民のこえ》

昨年、防火週間時に窪野目地区の半鐘のサイレンを鳴らそうとしたところ、サイレン本体に沢山の虫が詰まり、回転板が回らない状態でした。他の地区でも虫によるサイレンの不具合が起こる可能性がありますので、発生防止についての周知をお願いします。

また、サイレンの鳴らし方についてネットで調べると全国統一の鳴らし方と市独自の鳴らし方がありました。天童市の鳴らし方について消防署に問い合わせたところ、全国統一の鳴らし方とのことでしたが、市民の方は、サイレンが鳴っていてもその意味を把握していないかと思えます。鳴り方の意味についての周知もお願いします。

<回答及び対応状況>

サイレンの鳴らし方については、秋の火災予防運動（11月9日～15日）の市報での広報時に周知を予定しています。

また、天童市総合防災訓練で、訓練の中に火災信号を吹鳴しアナウンスをすることで周知を図る予定です。

No.	4	標 題	今年8月の大雨による水害について
所管課等		危機管理室、建設課	
<h2>《市民のこえ》</h2> <p>2年前にも水害があり、災害が常態化しつつあるのではないかと思います。前回と今回のことから、新西橋から樽川合流地点までの前田川右岸道路とその合流地点から下流に約350メートル先の堤防までの樽川右岸道路の20センチメートル程度の嵩上げを要望します。ただし、嵩上げの高さは参考であり、2年前の災害時、その場所より越水し高野辺地区の孤立が発生したので、専門的な立場から高さの決定をお願いします。</p> <p>関連して、今回の災害避難指示等の携帯へのエリアメールについて、河北・寒河江方面のメールは頻繁に入りますが、天童市は一回のみであり市民への連絡対応やエリア内にいる市外の方への情報の発信が不十分ではないでしょうか。</p>			
<h2><回答及び対応状況></h2> <p>御提言の前田川右岸道路及び樽川右岸道路は、どちらも県が河川管理者となっている前田川及び樽川の堤防となっています。</p> <p>御提言のような部分的な堤防の嵩上げは治水上、十分な検討が必要であると考えています。現在、県による樽川調節池の実施設設計が進められていますので、樽川及び前田川の治水対策の考えとして、この度の御意見を伝えていきます。</p> <p>また、本市では引き続き、排水ポンプ車等による内水被害の減災対策を行っていきますので、今後とも地域の皆様の御理解と御協力をお願いします。</p> <p>エリアメールなどの災害情報等の配信サービスについては、気象庁から配信される地震速報や自治体で発信する避難情報等があります。</p> <p>今年8月3日からの大雨に係る本市からのエリアメールの発信状況については、最上川下野水位観測所の水位が8月4日午前6時50分には氾濫危険水位を超える</p>			

蔵増まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和4年8月29日開催

予測が発表されたことから、成生、蔵増及び寺津地域の3つの地域へ、午前5時30分に避難指示の発令を同時に発信し、午後2時40分にその解除を発信しています。

寒河江市では、最上川の下野水位観測所の上流にある長崎水位観測所の水位が、午前4時50分には氾濫危険水位を超えることが予測されたことから、午前4時30分に避難指示を発令し、午後3時30分に解除しており、エリアメールの発信は本市と同様で2回となっていました。

河北町では、町内に最上川の無堤区間があることから、下野水位観測所の水位が氾濫注意水位を超えた段階である午前4時から、7時10分までに4つの対象区域毎に避難指示等を順次発令し、午後1時25分から6時10分までの間に、解除のエリアメールを対象地域毎に発信していたため、発信回数が多くなっていました。

今後とも、災害情報及び避難情報につきましては、対象となる地域の方々に、迅速かつ適切な発信に努めていきます。

なお、本配信サービスにつきましては、電波状況により他市町村の分も届く可能性がありますので、御理解をお願いします。

No.	5	標 題	除雪機の貸し出しについて
所管課等		市長公室	
《市民のこえ》 蔵増地区は高齢化率が高く、一人暮らしのお宅や高齢者夫妻のお宅が増えています。昨年度、高木地区に小型除雪機を貸し出し、除雪の検証実験をしたと聞いていますが、それらの検証結果と課題及び今後の展開について教えてください。			
<回答及び対応状況> 昨年度から、地域の除雪を自主的に行う町内会等に除雪機を無償で貸し出し、住民との協働による雪対策を進めています。昨年度は、試行として1台購入し、高木町内会に貸し出したところです。 高木町内会の実績ですが、主に通学路の幅だしや公民館等の公共施設周りの除雪を行い、作業日数は延べ13日、約28時間との報告を受けています。 また、作業員として10人の登録があった中、従事した方は、実人数で8人、延べ人数は40人です。 課題としては、貸し出しする除雪機が家庭用の一般的な除雪機より大きいことから、操作には多少の経験が必要なことや、作業に当たっては安全確保のため2人以上で行うこととしていることから、作業員の確保に苦慮したようです。そのことから、休日の作業が多くなっています。また、地域の要望に応えれば応えるほど、作業員の負担が増えますので、要望と実作業との調整が必要になります。 今年度は、貸し出しする除雪機を3台増やし、計4台にする予定です。現在、各町内会に希望調査を行い、10団体からの申込があります。貸し出しできる台数に限りがありますので、今後、聞き取りを行い、調整を図っていきます。			

蔵増まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和4年8月29日開催

No.	6	標 題	除雪について
所管課等		建設課	
<p>《市民のこえ》</p> <p>積雪が10センチメートルを超えると除雪車が出動すると聞いていましたが、基準があるから業者は出動を戸惑うのではないのでしょうか。また、夜の時点での判断であり、その後日中にどんなに降っても除雪車は来ません。日中の融雪時にも除雪をすれば楽にできるのではないのでしょうか。</p> <p>予算にしても、当初予算が無くなった場合に速やかに予算措置を取れるような現場でないと、対応がスムーズに行かないと思います。</p> <p>一度除雪しても、もう一度巡回して除雪してみようという体制と効率的な作業ができるよう市と業者をお願いしたいです。</p> <p>また、ラ・フランスセンター前の東西線、スポーツセンター前の南北線の除雪は、中央部分に積雪を残し完了しています。交通量も多く、高速道路からの出入り口付近でもあり、他地域との比較になる場所でもあることから、きれいに除雪をお願いします。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p> <p>本市では、交通渋滞の発生や除雪作業の安全確保の問題、除雪オペレーターの交代要員の確保の問題や、間口に寄せられる雪に対する苦情など、課題が多くあることから、夜間除雪を原則としています。</p> <p>日中に気温が緩んだ際の除雪については、パトロールで現場の状況を確認のうえ、必要に応じて適切に対応していきます。</p> <p>また、様々な道路状況に対応するため、効率的で効果的な道路パトロールを実施し、適切な除排雪に努めていきますので、地域の皆様の御理解と御協力をお願いします。</p> <p>なお、除雪に必要な予算は確保していますので、御理解をお願いします。</p> <p>昨年度のような異常降雪時においては、除雪作業が思うように進まず、除雪の遅れや御提言のような掃き残しが生じた状況もありました。このような降雪状況においてはパトロールを強化し、掃き残しなどがあった場合には、除雪業者に指導していきます。</p>			

No.	7	標 題	通学路の速度規制について
所管課等		生活環境課、建設課、教育総務課	
<p>倉津川橋から旧天童大江線までの道路は通学路となっていますが、歩道が無いため危険と隣り合わせの状態です。また、日中にスピードを出した車が散見され、なおさら危険を感じます。</p> <p>そこで提案ですが、「ゾーン30」の設置や、「グリーンベルト」の設置を県に働きかけていただきたいと思います。</p>			
<p>＜回答及び対応状況＞</p>			

蔵増まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

令和4年8月29日開催

御提言の路線については、通学路として指定された令和元年度以降、毎年、市、道路管理者、警察署等で構成する天童市通学路安全推進会議において、安全対策を協議しています。

御提案にある「グリーンベルト」も検討した経過がありますが、道路幅が狭い上に、路側帯にある電柱が障害となり設置が難しいため、路側帯を明確にするための外側線や停止線の再塗装などを重点的に行い、安全対策を図っています。

また「ゾーン30」の設置については、公安委員会で実施するものですが、路線ごとではなく周辺を一つの区域として設定する必要があり、設定区域全体が時速30キロメートルの速度規制になりますので、地域全体で話し合いの上、御相談くださるようお願いいたします。

今後も、警察署にパトロールの強化を依頼するなど、安全対策を実施してまいります。今年5月、通学時間帯に行った交通量調査の様子を見ると、周辺にお住まいの方の利用が大部分と思われるので、地域でも安全運転のお声がけをお願いします。

No.	8	標 題	小中学校のスクールバスの導入について
所 管 課 等	生活環境課、教育総務課、学校教育課		
<p>近年の社会情勢について、不安なことが多発しています。登下校時に襲撃するといった内容の脅迫メールもありました。教職員、警察の方、子ども見守り隊の方、地域の方の協力もあり、蔵増地区では事件は起きていませんが、安全確保という意味では、小中学校のスクールバスの導入は有効ではないかと考えます。</p>			
<p><回答及び対応状況></p> <p>地域における子どもたちの見守り活動につきましては、日頃より御尽力をいただき厚くお礼を申し上げます。</p> <p>最近、国内において子どもの安全を脅かす事案が多く見受けられます。まずは犯罪を起こしにくい地域環境づくりが最も有効な手段だと思います。また、各小中学校では、危険予測や危険回避を目的とした避難訓練を行っています。火災や地震だけでなく不審者対応などを想定した避難訓練を計画し、自分の命は自分で守れるような訓練を行っています。</p> <p>本市では、スクールバス導入は検討していませんが、児童生徒が安全に登下校できるよう警察をはじめ学校、防犯協会など地域の関係団体と連携して犯罪のないまちづくりと自助能力を高める防災教育を推進してまいります。</p> <p>今後とも地域の見守り活動につきましては、御協力をいただきますようお願いいたします。</p>			